

県立庄内総合高等学校

支援同盟会報

第七号

令和二年四月十日発行

「あいさつ



支援同盟会会长 清野義勝

日頃より本会の活動に対し格別
のご理解とご協力を頂き厚くお礼
申し上げます。

長年にわたり皆様と要望してき
ました田川地区県立高校再編整備
計画も令和四年には全日制二学級
に加え昼間定時制、通信制を新設
し新たな総合高校としてスタートす
ることになりました。

現在、定時制の新校舎整地工事
も始まり準備が着々と進められてい
る所です。これもひとえに県ご当局
はじめ多くの関係する皆様のお蔭と
深く感謝申し上げます。平成三十

一年度の事業においては町当局であ

ります町長、議会議長や教育長は
じめ、余目・立川両中学校へそれぞ
れ要望活動を実施し意見交換をし
ながらお互いに理解を深くする」と
ができました。庄内町からは生徒支
援のため入学時助成、交通費助成、
町営バス無料、資格取得助成など
様々な支援策を行っていたとき生
徒・保護者から大変喜ばれておりま

す。また、毎年実施しております県

ご当局に対する要望活動にあたって
は今年も田沢伸一県議のお骨折り

のお蔭で有意義な話し合いを行うこ

とができました。庄内総合高校が三

学制を備えた県内で初めての新制

高校として、新しい時代のニーズに

応えてさらに魅力ある高校として
一層発展していくよう皆様のご支援

ご協力をお願い申し上げます。

町通学費助成商品券利用

コンビニでの買い物28%

庄内町では本校生徒支援のため
入学時助成、交通費助成、町営バス
無料、資格取得助成を行っており生
徒・保護者から大変喜ばれている。

企画情報課が生徒・保護者にアン
ケート調査をしたので紹介します。

通学費助成商品券の使い道では第
一位がコンビニでの買い物二十八%、

と続き、昨年よりコンビニ利用が増
加している。

新入生は制服・靴が60%

第二位が食料品十八%、第三位飲
食店での利用が十一%で食料品等
が五十七%を占めている。他は同第
三位で衣料品十一%、本・文具十%、
ガソリン代八%、未使用七%その他

料品が六%、衣料品・コンビニ利用が
四%、その他と続いている。

通学費助成に37%が申請せず

助成対象となる電車・路線バス通
学生徒は二十七%で対象外の生徒
象者となるが、申請したのは七十一
人で対象者の二十七%にあたる四
十五人が通学費助成の申請をして
いなかつた。せつかく町が配慮してく
れた助成なのに残念なりません。

助成対象額が三十%から二十五%
に下がったのは残念ですが、町財政
も厳しい折から仕方がありません。

他の通学手段としては自家用車
送迎が二十九%、自転車通学二
十%，徒歩通学が十九%，町営バス
四%，その他となつていて、



無料町営バス利用20%

通学時に昇降口まで乗り入れて
くれる無料町営バスは荒天時には大
変ありがたい制度だが、利用生徒は
二十%の四十三人に留まる。しかし、
列車通学生徒全員が乗れる大きさ
では無いため、特に荒天時は一年生
が遠慮する」とになる様子。

令和2年度生徒支援397万円

令和元年度の町助成見込総額は二百七十九万円であり、町では新制高校開設前の令和二年度まで現行の助成制度を続けたいとのこと。

今年度入学者は八十五名と昨年を若干上回り、三クラス確保できたことは少子化が進むなか助成効果が発揮されているものと思われる。

令和2年度生徒支援助成予算内訳

▼新入生に二万円分のゆりカード二百四十万円

▼対象生徒(通学定期券購入者)に交通費二・五割相当ゆりカード助成百四十一万五千円

▼全校生徒の町営バス無料化

▼一万円以内で検定料相当ゆりカード交付、合格資格一つ五千円 分ゆりカード一十五万五千円

昨年七月一日県庁訪問

県教育長に要望書を手渡し

吉宮町議会議長、清野会長他八名が県庁に出向き、原田町長も合流し、田沢伸一県議の案内で普間県教育長以下十名の幹部職員同席のなか清野会長が「県立庄内総合高

等学校施設整備を求める要望書」を手渡し口頭で回答をもらつた。

【県の回答】

○放送設備の更新を要望

回答 新校舎全体で考えたい。

○定時・通信生徒の駐車場を要望

回答 生徒増加要す、新体制で検討

○体育館南外壁の継続修理を要望

回答 回答無し

《以後対応》外壁南左半分を改修

○校舎・関連施設の耐震化を要望

回答 新体制高校の開設に合わせ

耐震化に取り組みたい。

○体操専用体育館の設置要望

要望書 知事不在で秘書課手渡し

県議会議長へは田沢県議に委託

《体育館外壁南左半分改修完成》

▼全校生徒の町営バス無料化

▼一万円以内で検定料相当ゆりカード交付、合格資格一つ五千円 分ゆりカード一十五万五千円

昨年七月一日県庁訪問

県教育長に要望書を手渡し

吉宮町議会議長、清野会長他八名が県庁に出向き、原田町長も合流し、田沢伸一県議の案内で普間県教育長以下十名の幹部職員同席のなか清野会長が「県立庄内総合高

三叉路整備と合わせ県道との接続と一緒に考えたい。サッカー部指導は学校の魅力づくりになり、モンティオジニア効果も出る。他所からくるとすれば宿泊施設も考えたい。

町議長／駐車場は町と協力して取り組みたい。庄総高はキャリア教育で地元就職が多いのが特徴、今後も町の助成が続くよう協力したい。田沢県議／令和四年度に新制高校が動き出したら新たな課題が必要になるだろう。庄総高のアクティブラーニングは本にまで出る素晴らしい取り組み。



普間県教育長との話合い

県教育長／6・18鶴岡沖地震にはお見舞い申し上げる。皆様の支援は県でも実感している。これまで耐震化されていない校舎も含め基本計画

の中でもどれだけ考慮できるかが課題。予算の範囲内で一番良い取り組みを検討している。

石川幹事長／進藤サッカーコーチの指導が素晴らしい。地域おこし協力隊は三年が期限、本校サッカーチーム顧問として県で採用できないか。

県教育長／町からサッカーチームを派遣してもらうのは大変ありがたい。県の採用試験を受けてもらいたい。

町長／定時・通信制生徒は町でも受け入れ対応したい。駐車場整備は

小野議員／職場体験発表は、大学生の発表かと思うほど素晴らしい。

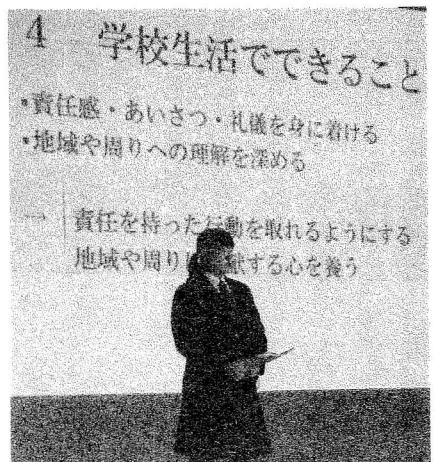
県教育長／発表の機会が与えられるのは生徒のためになる。

日野／生徒が地域の人々に温かい。体育部は体育館が併用なので準備付けに時間がとられる。専用体育館がほしい。

工藤議員／先頃の地震に対して校舎の耐震化はどうなった。

県教育長／新しい校舎だけでなく、旧校舎もそのままにはできない。

総合学科学習成果発表会から



モットーに。「ミス厳禁」軽いミスを見逃さない。諦めないと成功に不可欠。基本は笑顔。「温故知新」古いものを大切にする一方で新しいものも取り入れる。人との信頼関係を築く。礼儀を大切に。後悔のない行動をする。等の発表があった。

「コマ撮りを使った映像作品」教科の学習成果発表では、三年次八班の発表があった。スマホで一分間のコマ撮りをするもので、映像で自分達の思いを伝えるのは難しいと感じた。

三年次の卒業研究発表と一、二年次の体験発表を行い、阿部副町長、町議会議員らを招き、体育館ステージの大スクリーンで発表した。

「インターナシップ体験」一年次三名が発表した。体験で得た事として、お客様第一、声のかけ方のタイミングが大事。毎日コツコツ練習が大切。お客様の望む一つ上のものをつくる。声を出してから介助する。などの発表があつた。

「ライフプラン発表」二年次三名が自分の希望する職業の実践活動や自分の思いを発表した。

「やる気・根気・コミュニケーション」を

デイングを活用。若者へのアピールが大事と訴えた。

二組小山咲良さんは「結婚しても仕事を続けるのか」というテーマで三年女子にアンケートを取つた。ほとんどの人は結婚後も仕事を続けるが、辞めて子供を丁寧に育てたいという人も多かつた。酒田市ではスマートワークという男性の育児参加を進め事業所内保育所を増やすという。自分も積極的に参加したい。

二組斎藤優斗さんは「情報発信の有効活用」というテーマで、庄内町のホームページの閲覧数が少ない。生徒へのアンケートでは九割が見たことが無い。町議会議員との交流会で町のおすすめスポットをもつとPRする必要があると感じた。庄内町のホームページは固すぎる。見てもらうため可愛らしい動物を活用する。SNSコンテストを提案したい。景品はラーメンチケット二十枚、町のラーメン店も売れる。閲覧者を増やすためにQRコード、URLを貼る。米コンテスト

魅力になる。

三組二平真弓さんは「学校と地域の活性化～eスポーツで地方創生～」というテーマで、世界で流行しているゲームとスポーツを融合したeスポーツを紹介。酒田広陵高校ではeスポーツクラブがある。和歌山県の酒蔵ではイベントと組み合わせeスポーツを行つて。本校でも部活動化したい。生徒百四十人にアンケート四十八人が入部したいと申し出があった。庄内町の秋まつりでeスポーツツブース設営どうか。全国大会目標に部活動に取り組んでもらいたい。

「スライドショー」一年間の学びをスライドで上映

「審査発表」阿部副町長が発表、次の発表者を最優秀賞とした。

「審査発表」阿部副町長が発表、次の発表者を最優秀賞とした。

一年次一組五十嵐愛華さん 実習先「ピカソfor tie」

二年次一組中尾明日香さん ライフプラン発表「企業ハナブサ醤油」

三年次一組高山瑞希さん 「鶴岡市の地域資源を守る」

ルーキー紹介



回答理由を見てみると、「子供が申請しなかった」「申請期限が分からなかつた」とあり、親の心、子知らずで

活動報告「スペクト

町生徒支援アンケートより

通学費助成「忘れていた」43%

一面で通学費助成を三十七%の生徒が申請しないと紹介したが、さらに申請しない理由を見てみると、「忘れていた」の回答が四十三%、

十二人、「制度を知らなかつた」二十六%十三人で合わせて六十九%、十五人の生徒が、せつかく町で用意した助成を受けていないという実にもつたない状況が分かつた。町が助成制度を始めてから四年が経過しているにもかかわらず、いまだに生徒の関心が低い状況が続いている。

今年度の提出予定要望書

県教育長への要望書

○体育館南側外壁の継続修繕(再)

○同窓会館避難階段等改修整備(新)

○校舎及び関連施設の耐震化(再)

県知事・県議会議長への要望書

○体操専用体育館の設置(再)

庄内町長・町議会議長・町教育長
要望書

といふ考えだとすれば問題。

【生徒の声】

*助成はとても良いと思う。

*あまり関心がない。

*担任の先生から教えてほしい。

*資格助成は三級からにしてほしい。

【保護者の声】

*助成はありがたい。続けてほしい。

*余目でないので商品券が使いにくい。

*直接、家に制度の案内が来てほしい。



(同窓会館北側避難階段)

インターネット取り組み再検討 プロジェクト

町・商工会・企業同友会から、新たな組織を立ち上げるのは屋重屋になる。既存体制で対応との回答。

会員のJ連絡

個人会費を貢わずには頑張ります。

会報編集事務局

県立庄内総合高等学校支援同盟会
事務所 廿六木字五反田755-1

篠マルハチ内 043-603-0001

幹事石川 056-24804

会計早坂 042-090-0004

seinenban.mnba募集中

「庄総同窓会青年部」で検索！

Syoso.ob@gmail.com